

第2学年 国語科 つたえたいことを はっぴょうしよう
「大すきなもの、教えたい」(光村図書 2年上)

【公開授業】国語科学習指導案
日時：令和元年 9月 11日(水)
学級：2年A組
授業者：

1 単元の目標

○伝えたいことについて、必要な材料を集め、話す順序を考え、丁寧な言葉遣いで話すことができる。
○一音一音を、はっきりと発音し、相手に届く音量で話すことができる。

2 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識及び技能
・大好きなものを話すことに興味をもち、伝えようとしている。	・伝えたいことについて、必要な事柄を集めている。(1)ア ・話す順序を考えて、敬体を使っている。(1)イ ・みんなに聞こえる声で話している。(1)ウ	・事物の内容を表したり、経験を伝えたりする言葉の働きに気づいている。(1)イ(ア)

3 単元計画

	時	学習内容 (全6時間)	評価
第1次	1	○大すきなものの、どんなことをつたえたいか、考えよう。 ・「こんなもの見つけたよ」の学習を想起させどんなことを伝えたいか考える。	【関】学習の見通しをもち、大好きなものを伝えようと思意欲をもっている。[発表・観察]
	2	○はっぴょうのときに気をつけることをたしかめよう。 ・発表の時に気をつけることを確かめる。 ・大好きなものについて、発表するものを1つ選ぶ。	【言】発表する時に注意することを押さえている。[発表]
第2次	3	○大すきなもののことをくわしく書こう。 ・選んだものに対する思いを豊かにするために、特徴や理由をワークシートにまとめる。	【言】発表するために必要な事柄を考えている。[ノート・観察]
	4	○じゅんばんを考えてはっぴょうする文しょうを書こう。 ・発表メモを文章にし、ならびかえて原稿を完成させる。	【言】聞き手にわかりやすい順序を考えて、敬体を使って原稿を書いている。[ノート・観察]
	5本時	○大すきなものを、友だちにつたえるれんしゅうをしよう。 ・発表原稿をもとに、聞き手にわかりやすく話す練習をグループで行う。 ・姿勢や声の大きさ、速さなどに気をつけて話す。	【話・聞】姿勢や声の大きさ、速さなどに気をつけて話している。[観察]
第3次	6	○はっぴょうかいをしよう ・発表会のめあてを確かめ、進め方を捉えて、発表会を開く。 ・学習のふり返りをする。	【話・聞】・話の順序に気をつけ、発表をしている。 ・丁寧な言葉遣いで、みんなに聞こえるように発表することができる。[発表]

<p>1 単元名 つたえたいことを はっぴょうしよう 教材名 「大すきなもの、教えたい」</p>	<p>4 本時の目標 友だちに自分の発表を聞いてもらい、姿勢や声の大きさなどに気を付けて、より良い発表ができるように練習する。</p> <p>5 評価基準 【話・聞】姿勢や声の大きさなど、聞き手にわかりやすい話し方をしながら練習をしている。 【発表】</p>	
<p>2 児童の学力の状況 児童は「話すこと」に対する意欲は高く、学級の友だちに話することを苦手としている児童は少ない。しかし、自分の思いを伝える児童という気持ちは強いが、そのことをわかりやすく相手に伝えるということまでは至っていない。また、友だちの話に耳を傾け、しっかりと最後まで聞くことができない児童もいる。</p> <p>1年3学期の総合学力調査の正答率は、ほぼ全国平均以上であったが、4月の結果は、「話すこと・聞くこと」が全国比－6.4である。また、質問項目別では「話す順序をよく考えて話をしている」全国比－7.8「話し合いをするときに、相手の立場や考えを尊重して、話を聞いている」－7.9と低い数値となっており定着が測られていない現状である。</p> <p>3 教材観 本単元では、第1学年及び第2学年「話すこと」「聞くこと」の指導事項「イ 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。」「ウ伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫する。」「エ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことをおとさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。」がねらいである。</p> <p>2年生は、1学期に（聞きこと話すこと）で「だいじなことをおとさずに話したり聞いたりする」学習、(書くこと)では「初め」「中」「終わり」の構成で紹介文を書き、友達と交流するという学習を行っている。本単元では、自分が伝えたいことを「初め」「中」「終わり」の構成で考え、順序立てて相手に分かりやすく話すことができるようにし、次の「説明する」という学習につなげていく。</p> <p>そこで、本単元では、子ども達の「伝えたい」という気持ちを大事にしながら「大好きなもの」の題材を選び、友達と互いに聞き合う活動を通してねらいにせまっていく。そのために、本時では、話し方のポイントとして話の構成や順序、丁寧な言葉遣い、声の大きさなどに気を付け、互いにアドバイスし合うことで、聞き手に伝わりやすいよりよい話し方について気付くことができるようにしていく。また、合わせて聞き方のポイントも示すことで互いに聞き合う観点を明確にし、質問や感想が出しやすく支援することで、より相手意識のある活動にしたい。</p> <p>今回の学習活動を通して、よりよい話し手、聞き手のよさに気付くことができるとともに、話が伝わることの楽しさやよさを実感できるようにすることで、第3学年以降の話し合いの素地づくりとしたい。</p>	<p>6 本時の展開 (5/6)</p> <p>学習展開 ・本時における願う児童の姿</p> <p>導入 13:30</p> <p>課題設定 問いの共有</p> <p>見通し 13:33</p> <p>・シラバス ・キーワード ・言語わざ</p> <p>自力解決 13:38</p> <p>班学習 13:43</p> <p>全体学習 (考察) 13:55</p> <p>まとめ 14:07</p> <p>振り返り 14:13</p> <p>1. 前時までの学習を振り返る。 前の時間に学習したことをペアで振り返る。</p> <p>2. 学習計画を見て、課題を確認する。</p> <p>友だちにわかりやすかつたえる話し方や上手な聞き方のポイントに気を付けてれんしゅうしよう。</p> <p>3. 課題を解決するための見通しをもつ。 ○発表するとき、聞くときに気を付けるポイントは何かなことだろう。 ・文の終わりは「です」「ます」をつけるんだったよ。 ・ゆっくり、あわてないで読むことが大切だよ。 ・「はじめ」「なか」「おわり」のまとまりで発表すると友だちが聞きやすいよ。 ・声の大きさに注意しなければいけないよ。 ・最初に何の話をするかを伝えるといいよ。 ・友だち大好きなものを知ってもらいたいという気持ちや姿勢がとっても大切だよ。 ・聞く人は発表の良いところを考えながら聞きます。うなずきながら聞きます。 ・質問を考えながら友だちの発表を聞こう。 ・自分は○○が苦手だから○○に気をつけたいです。</p> <p>自力解決 (5分) 班学習 (12分) 全体学習・まとめ (12分) ふり返り (3分)</p> <p>3. 自力解決をする。 ○友だちに聞いてもらおう前に発表のポイントに気を付けて練習しよう。 ・伝えたいことの話す内容の順序を考えて、発表の練習をする。 ・声の大きさは、速さは適当か。 ・「です」「ます」を使って丁寧な言葉遣いで話せているか。</p> <p>4. 班学習(1)をする。 ○順番を決めて、発表や質問をし合う。 ○話し手は話し方のポイントを見て、感想をノートに書く。 ○聞き手はノートに話し手の良かったところや直したらいいところを付箋に書き、聞き手のノートに貼る。 ・声の大きさがよかったよ。・ゆっくりははっきりと言っていたよ。 ・大好きな理由がよくわかったよ。</p> <p>5. 班学習(2)をする。 ○自分の話し方を見直して2回目の練習をする。 ○ペアの友だちや参観の先生に聞いてもらう。 ・2回目は○○をがんばります。 ・2回目は○○に気を付けます。 ・1回目と同じくらいの声で発表します。</p> <p>6. 友だちにわかりやすく話を伝えたり、上手な話しの聞き方について話し合う。 <話し方>・話の内容を初め、中、終わりに分けて書く。 ・「です」「ます」を使って話す。 ・最後まで丁寧に話す。 ・「一つ目は～」 「二つ目は～」と順番に言う。 ・言葉をはっきりと発音し、相手に届く声で話す。</p> <p><聞き方>・話す人が一番伝えたいことに気を付けて聞く。・話している人を見て、うなずきながら、笑顔で聞く。 ・最後まで集中して話を聞く。 ・話す人が「笑顔になる」「もっと話したい気持ちになる」「質問されてうれしくなる」質問や感想を言う。</p> <p>7. 学習のまとめをする。</p> <p><話し手>話をわかりやすかつたえるには、話す順番や声の大きさ、速さに気を付ける。丁寧な言葉をつかう。 <聞き手>話し手が伝えたいことは何か考えながら集中して聞き、質問したり、感想を言う。</p> <p>8. 学習の振り返りを書く。</p>	<p>・願う児童の姿に迫る手立て ◇ 評価</p> <p>前時の学習のふり返りをする。 (ぶつぶつタイム)</p> <p>キーワード</p> <p>・「話の順序」・「初め」「中」「終わり」 ・「丁寧な言葉」・「です」「ます」 ・「詳しくする部分」 ・「付け足す」 ・「一つ目は…」 「二つ目は…」 ・「声の大きさ」「間のとりかた」</p> <p>・聞き方で大切にしたいことにも触れ、聞き手も大切な役割であることを意識させる。</p> <p>◇姿勢や声の大きさなど、聞き手にわかりやすい話し方をしながら練習をしている。 【話・聞】 [発表]</p> <p>・話し手は感想やアドバイスをもらったら「ありがとう」というように伝える。</p> <p>・改善の意識が高まるように2回目は何をがんばりたいのかを発表させてから、練習に取り組みさせる。</p> <p>振り返りの視点</p> <p>・自分の発表のいいところ、直すところ ・今日の学習で気づいたこと ・友だちの発表から学んだこと ・発表する時に気を付けること ・次時に向けてがんばりたいこと</p>